



える夢キッズ自然体験学習



7月2日、浦幌町炭山みらいの森で、『える夢キッズクラブ（主催：町教育委員会 協力：十勝総合振興局森林室（浦幌町））』が行われました。

今回は、森林や溪流での自然体験活動をととして、豊かな感受性や仲間との協調性を育むとともに、ふるさと十勝の豊かな自然を大切にしようとする意識を高めることを目的に実施されました。

午前中は森林散策を行い、2種類ののこぎりを使用して枝打ち・丸太切り体験をしました。また、午後からは溪流散策を行い、網や木の枝を使用して魚獲りに挑戦し、捕まえた魚の感触やにおい、模様などを、児童たちは目を輝かせながら観察していました。

第1回豊頃男子セミナー



6月24日、第1回豊頃男子セミナー（主催：豊頃町総合プロモーション推進協議会）がえる夢館で行われました。

「豊頃男子」はJA豊頃町、大津漁協、町商工会の各青年部の25名で構成され、電通第1CRプランニング局（東京）のクリエイティブ・ディレクター／コンサルタントの山田壮夫さんがまちづくりのための「コンセプトの作り方」について講演しました。この中で山田さんは、「他の町と同じことをやっても人は来ない。常識を覆し、作戦を一言で表すコンセプトが重要」と述べました。参加者たちはグループ討議なども行い、コンセプトの作り方について理解を深めました。

保育所運動会

7月2日、茂岩保育所の運動会が開催されました。児童たちはたくさんの声援を受けながら、練習の成果を十分に発揮していました。



地引き網体験学習



6月29日、長節湖で津小学校全校児童と豊頃小学校の4年生、大津保育所の児童たちが参加し、地引き網体験学習を行いました。

漁船から湖に投げ入れられた網を、子どもたちは一生懸命ロープで引き、網が岸まで上がるとウグイやイワナ、ワカサギなどの魚が100匹以上掛かっていると児童たちは歓声を上げていました。

十勝地区水産技術普及指導所の職員から魚の名前や特徴などの説明を受けた後、捕獲した魚は再び子供たちの手によって長節湖へ放されました。

その後、子供たちはシジミ採りを体験するなど、地域の基幹産業である漁業の理解を深めました。

ロングトレイルフットパス



6月25日、「『海のルート』湧洞・オйкаマナイトフットパス＆サイクルツアー」（主催：東十勝ロングトレイル協議会）が行われました。

フットパスに参加した35人は、大樹町生花苗沼（おいかまないとう）や湧洞沼で野鳥や原生花園を眺め、サイクルツアーに参加した7人は2人のガイドとともに57キロを駆け巡りました。

その後両グループは、長節湖の「いんかるし〜長節」で合流し、二宮の原桃子さんが経営する「はらっぱ」が用意した黒千石豆ごはんや鶏のハーブ焼き、ピザなど地場産の野菜をふんだんに使った昼食を味わいました。

合同行政区地域防災研修会



6月24日、3地区（茂岩栄町、茂岩末広町、牛首別）合同行政区地域防災研修会が福祉センターで行われ、地区の住民47人が参加しました。

帯広開発建設部池田河川事務所の山崎猛計画課長を講師に招き、「水防災意識社会再構築ビジョン」について説明を行いました。この中で山崎計画課長は「十勝川茂岩観測所の流量はほぼ変わらないが、同観測所の水位は低下傾向にあるので、堤防決壊等のリスクは減っていると」と述べました。ただし、平成15年と平成23年には町内でも洪水があったため、国土交通省のハザードマップ等の活用を呼び掛けました。



▲山崎計画課長

高橋はるみ知事来町



7月2日、高橋はるみ北海道知事が、地域訪問の一環として「ひだまり交流館」を訪れ、道産カラマツ材を使った施設内を視察し、宮口孝町長、施設を管理運営する社会福祉協議会の菅谷誠会長、大久保梨沙係長、山下愛主事らと懇談しました。

大久保係長は「世代や障害の有無の垣根をなくし、大家族のような雰囲気の居場所づくりを目指している」と説明しました。これに対し高橋知事は「高齢者福祉を核に地域交流を深める施設は、全国的に一つの流れになっている。ぜひ豊頃モデルをつくるよう頑張っていたきたい」と述べました。

▽はるにねは見ていた
広報とよころ

議会だより

役場だより

▽はるにねは見ていた
広報とよころ

議会だより

役場だより

